

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ばんびーのえすと				公表日	令和8年 3月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			利用者数に合わせてスタッフ配置をしています が、利用者の特性等の理由で多めに配置した方が 良い場合はミーティングで話し合い、対策を 考えていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	バリアフリーでなくても対応できている。 構造上バリアフリーは難しいが出来る限りで配 慮したい。 活動室に段差がある。	玄関と室内数か所に段差あり。構造上の問題で 完全にバリアフリー化することは難しいですが、 出来る限りサポートを行い利用者の負担軽減に努 めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			活動室の階段が時々ずれてきている為、早めに 修理を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			宿題等で集中したい時や情緒が乱れた時は相談 室を開放しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			パートさんからは必要時の聞き取りのみとなっ ている為、話し合いに参加する機会を設けてい きます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		第三者評価は行っていませんが、事業所間で見 学等を行い意見交換を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			ミーティングにて児童の様子報告や保護者の意 見等を取り入れながら適切な対応方法の検討を 行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		△回答あり(1名)	ケース記録で日々の行動観察を記録しています が、目標に沿った内容の記入が出来るよう工夫 していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			「家族支援」の点においてはまだまだ十分な目標設 定や対応が出来ていないところがある為、保護 者との繋がりが深まる様取り組みを考えてい きます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別では難しいため、小集団にて支援に取り組	下校時間が送迎の状況によりですが、個別対応できるスタッフが確保できる時はけいけい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		送迎人数によっては振り返りの時間を取れないこともある為、送迎業務の見直しも行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		工夫できるところがもっとあると思うためみんなの意見を取り入れブラッシュアップしていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			活動の中や遊びの中で子ども達に選んでもらう場面を作り、主体的に行動できるよう工夫しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			利用者と実際にあったことのない相談員が話し合いに参加することもあります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	連携の会議があれば参加したい。	保健、医療の分野との連携は出来ていません。必要な場面があれば協力していきたいと思えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		一部の学校とは情報共有できる場があるため参加している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		移行時のサポートは出来ていないのが現状ですが、今後は卒業後の生活や作業の場を見学させてもらい、交流を図っていきたくと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		研修会には内容や機会を見て参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		イベント等は行っていません。土日開所していないこともあり、交流の時間を取ることが出来ません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		自立支援協議会へは参加していませんが、放課後等デイサービス連絡協議会に定期的に参加し、他事業所と情報交換を行っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	7	1		父母の会はありません。保護者会は感染症予防の理由から見送っていましたが、少しずつ再開していきたいと考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		感染症予防の理由から見送っていましたが、少しずつ再開していきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			アレルギー表を作成し、調理時には十分気を付けて対応しています。医師からの指示所があれば従って対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			ヒヤリハットだけでなく、小さな気付きもミーティングで議題にあげ、大きな事故に繋がらないよう検討を行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			研修を実施し、身体拘束防止についての理解を深めています。児童の行動面や情緒面の変化や頻度をみながら対応について保護者やスタッフで話し合いを行っています。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ばんびーのえすと

公表日 令和8年 3月 17日

利用児童数 44名

回収数 29

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	0	2		活動内容に応じてレイアウトや人数を調整する等して安全・快適に過ごせるようスペース確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	5		基準に沿った職員を配置しております。何か気になる点がございましたら気軽にお声掛けください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	5		建物の構造上、完全にバリアフリー化することは難しいですが、要望に応じて出来る限りサポートしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	3		いつでも見学可能ですので、お気軽にお声掛けください。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	0	0	クッキングやお金の勉強等実際に身につけて頂けて助かっています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	2	0	0	預かるだけの施設と違って内容の充実した施設だとおもいます	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0	預かるだけの施設と違って内容の充実した施設だとおもいます	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2	0	2	預かるだけの施設と違って内容の充実した施設だとおもいます	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	2	預かるだけの施設と違って内容の充実した施設だとおもいます	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3	0	1	おでかけなど生活に役立つ預かるだけの施設と違って内容の充実した施設だとおもいます	今後も子どもたちに楽しんでもらえる活動や行事を考え、提供していきたいと思っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	7	4	4	地域の他の子どもとの接点について教えていただけると嬉しいです	なかなか交流の機会がないのが現状ですが、地域のコミュニティ会館やスポーツ会館を利用して交流が出来たらと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	5	3	2		発達支援センター主催の研修会があるので、積極的に情報提供していきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	5	7	兄弟で通所できるとうれしいです	保護者の方に気軽に来所していただけるよう療育公開日を設けていきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	1	2		相談はいつでも受け付けておりますのでお気軽にスタッフへお声掛けください。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	3	0	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	3	0	1	安心してご利用いただけるよう、個人情報の取り扱いには十分注意して対応してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2	0	2	各種マニュアルを整備し、訓練等の実施の際はマニュアルに沿って実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1	0	1	避難訓練は必ず年に2回、火災、地震、水害を想定して実施しております。訓練の実施については通信をご確認ください
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3	0	2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	3	0	1	子ども達の動向を把握できるような人員配置を行いリスク回避に努めておりますが、事故発生時は速やかにご説明いたします
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1	0	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1	0	0	送迎については行きも帰りも送迎があると助かります。うちは年寄り送迎なので…。送迎につきまして、乗車人数に限りがあるため保護者様にご協力いただく場合がございます。なるべく低学年のお子さまが送迎車を利用できるよう調整していきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスばんびーのえすと		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常生活に必要なスキルの習得	創作や運動、クッキングなどの様々な活動を取り入れ、子ども達が自己選択・決定が出来るようアプローチしながら生活スキルの習得が出来るよう支援している。	5領域を盛り込みながら総合的な発達支援を行っていく。
2	社会性の育成	買い物、お出掛け、コミュニティ会館の利用などの所外活動を多く取り入れ、グループ活動を通じてコミュニケーション能力や協調性を高めたり、社会のマナーを身につけられるよう支援している。	地域活動やイベント等に参加する機会を見つけ、地域とのつながりを築いていく。
3	開かれた事業所作り	保護者、新規利用希望者、関係機関等の見学や実習生の受け入れを行い、事業所の雰囲気や療育内容を知る機会を提供している。	今後もさらに積極的に取り組み、ご意見をいただきながら課題の改善に努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化が出来ず、身体に障害のある方の受け入れが難しい。	マンションの構造上、教室入り口と教室内の合わせて4ヶ所に段差や階段があり、完全にバリアフリー化は出来ない状況である。	必要に応じて簡易スロープなどの補助具を用意していく。
2	地域交流が少ない。	学校や児童館、保育所との交流は受け入れがあれば実施していきたいと考えているが、接点が少なく実施には至っていない。	近隣への外出や他事業所との交流は積極的に行っている為、そこから少しずつ交流を広げていけるようにしていく。
3			